

平成 22 年度当初予算 施策別概要

3 4 1 医療体制の整備

(主担当部：健康福祉部)

34101	患者本位の医療の推進	(健康福祉部)
34102	県立病院の医療サービス提供	(病院事業庁)
34103	救急・へき地医療体制の整備	(健康福祉部)
34104	がん診療体制の整備	(健康福祉部)
34105	骨髄バンク、臓器移植等の推進	(健康福祉部)
34106	難病患者等の支援	(健康福祉部)
34107	医療分野の人材確保	(健康福祉部)
34108	適正な医療保険制度の確保	(健康福祉部)

< 施策の目的 >

(対象) 県民一人ひとりが

(意図) 必要とする適切な医療を受けている

< 施策の数値目標 >

施策目標項目 (主指標)		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
地域の診療所・病院から地域医療支援病院への紹介率	目標値	-	63.0%	77.0%	78.0%	80.0%
	実績値	62.0%	76.0%	83.0%		

かかりつけ医である地域の診療所・病院から専門的な医療等後方支援の役割を担う地域医療支援病院への紹介患者の割合 (紹介率 = 地域医療支援病院における初診患者数の中の紹介患者の割合)

県の取組目標項目 (副指標)		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
地域医療支援病院から地域の診療所・病院への紹介率	目標値	-	48.0%	57.0%	58.0%	60.0%
	実績値	47.0%	56.0%	60.0%		
難病相談支援センター登録患者数	目標値	-	780 人	1,200 人	1,300 人	1,400 人
	実績値	731 人	1,100 人	1,277 人		
医療相談件数	目標値	-	610 件	650 件	690 件	730 件
	実績値	573 件	634 件	845 件		

< 進捗状況 (現状と課題) >

- ・ 医師確保については、医師修学資金貸与制度等を活用するとともに、市町、三重大学等と連携して「ポジティブ・スパイラル・プロジェクト」を推進し、地域医療に従事する医師の育成と定着促進に取り組んでいますが、県内の医師不足は依然として厳しい状況にあります。
- ・ 看護職員の確保・離職防止については、サポーターのモデル病院への派遣など、離職者が多い中堅看護職員の負担軽減の取組を進めていますが、看護職員の不足は依然として厳しい状況にあり、新人看護職員の県内定着を促進するとともに、看護職員の質の向上をはかる取組が必要です。
- ・ 限られた医療資源の有効活用に向けて、県民の適切な受療行動を促す啓発の取組を進めるとともに、医療機関と患者やその家族との対話を推進する取組を支援しています。
- ・ 初期、二次および三次救急医療の機能分担を進め、地域における救急医療体制の再構築を支援していますが、医師の不足等により、各地域では二次救急医療体制の維持が困難な状況であり、救急医療に従事する病院勤務医の確保が課題となっています。

- ・ 三次救急医療体制の充実に向けて、三重大学医学部附属病院への救命救急センターの設置を進めるとともに、県内全域を対象とする県独自のドクターヘリの導入に向けて、基地病院の選定にかかる検討を進めています。
- ・ 「三重県がん対策戦略プラン」を推進するため、緩和医療の充実に向け、がん診療連携拠点病院の医師を対象とした研修を実施しました。今後も引き続きがん診療に従事する人材の育成をはかっていく必要があります。
- ・ 難病患者等への支援として、重症神経難病患者とその家族が安心して在宅療養生活を送ることができるような支援システムの構築に取り組んでいます。
- ・ 県立病院の在り方については、議会等における議論や可能性詳細調査の結果も参考に、各病院の方向性など基本方針を決定する必要があります。

<平成22年度の取組方向>

地域の医療課題の解決に向けて策定した「地域医療再生計画」に基づき、医療従事者の確保や、救急医療、小児医療、周産期医療など、地域における医療提供体制の充実・強化をはかります。

医師確保については、医師修学資金貸与制度等を活用するとともに、三重県地域医療研修センターを中心に、医学生や研修医に対する支援体制を充実することで、地域医療に従事する医師の育成と県内定着の一層の推進をはかります。

不足する看護職員の確保に向けて、病院内保育所や養成所に対する運営支援、再就業の促進等の取組を充実するとともに、看護職員の質の向上と定着促進をはかるため、新人看護職員等に対する研修体制の構築支援に取り組みます。

医療資源の有効活用に向けて、引き続き県民に対する啓発の取組を進めるとともに、医療ネットみえを活用した医療情報提供の充実に努めます。

救急医療機関における医師の確保を支援するとともに、病院前救護体制の充実など、迅速・的確な救急患者の受入がなされる体制整備をめざします。

三次救急医療体制のさらなる充実をはかるため、県内全域を対象とした県独自のドクターヘリの導入について、基地病院の選定など具体的な検討を進めます。

「三重県がん対策戦略プラン」に基づき、質の高い医療が受けられる体制を拡充するとともに、患者やその家族に対する相談体制の充実をはかります。

医療機関、NPO等との連携を緊密にし、骨髄バンクや臓器移植等の普及啓発を行います。

三重県難病相談支援センターや難病医療連絡協議会等との協働で、難病患者等へのきめ細かな療養・生活支援を行います。

県立病院改革の方向性を踏まえた適切な経営計画に沿って、県民に良質で満足度の高い医療サービスを提供するとともに、引き続き経営の改善に取り組めます。

県民に良質な医療を継続的に提供していくため、基本方針に基づき病院改革に取り組んでいきます。

<主な事業>

(一部新)(重) 医師確保対策事業【基本事業名：34107 医療分野の人材確保】

予算額：(21) 337,291千円 (22) 514,004千円

事業概要：新たな医師修学資金等貸与制度の活用等により、医師の確保を進めます。また、三重大学医学部の定員増を踏まえ、卒前・卒後教育の充実に取り組むとともに、医師不足地域の病院を支援します。

(一部新)(重) 看護職員確保・離職防止充実事業【基本事業名：34107 医療分野の人材確保】
予算額：(21) 18,336千円 (22) 41,754千円
事業概要：看護職員を確保するため、病院内保育所設置に対する支援等を行うとともに、新人看護職員の研修体制整備に取り組みます。

(一部新)(重) 医療機関機能分化推進事業【基本事業名：34103 救急・へき地医療体制の整備】
予算額：(21) 46,859千円 (22) 31,170千円
事業概要：限られた医療資源を有効に活用するため、セミナーの開催等により県民への啓発を行い、医療機関の機能分化を推進します。また、安全で安心な「お産」ができる体制を整備するため、助産師養成所の運営支援など、助産師の確保と資質向上をはかります。

(一部新)(一部重) 救急医療体制再整備・医療情報提供充実事業
【基本事業名：34103 救急・へき地医療体制の整備】
予算額：(21) 217,989千円 (22) 356,918千円
事業概要：救急患者の受入実績に応じた救急医療機関への支援や、診療所医師が二次救急医療機関の診療支援を行う際の経費助成等により、救急医療体制を強化します。

(一部新)(重) 総合的がん対策推進事業【基本事業名：34104 がん診療体制の整備】
予算額：(21) 66,584千円 (22) 186,042千円
事業概要：「三重県がん対策戦略プラン」にもとづき、質の高い医療が受けられる体制の拡充をはかるとともに、患者やその家族に対する相談体制を充実します。また、がん検診受診率の向上や精度管理の向上に向けた取組を進めます。

難病相談・支援センター事業【基本事業名：34106 難病患者等の支援】
予算額：(21) 9,228千円 (22) 15,209千円
事業概要：三重県難病相談支援センターにおいて、地域で生活する難病患者やその家族等の日常生活における相談・支援、地域交流活動の促進、就労支援などを実施します。

県立病院の医師・看護師確保定着事業【基本事業名：34102 県立病院の医療サービス提供】
予算額：(21) 180,552千円 (22) 188,568千円
事業概要：県立病院で働く医師・看護師の確保のため、医師の研修環境の充実や新人看護師の技術支援、院内保育の充実、看護師修学資金の貸与等に取り組みます。

病院事業会計支出金【基本事業名：34102 県立病院の医療サービス提供】
予算額：(21) 7,949,572千円 (22) 7,836,655千円
事業概要：政策医療に要する経費、不採算な経費等について、負担・補助等を行います。

(新) 県立病院改革推進事業【基本事業名：34102 県立病院の医療サービス提供】
予算額：(21) 千円 (22) (検討中)
事業概要：『県立病院改革に関する考え方(基本方針)』に基づき、今後も県民に良質な医療を継続して提供できるよう改革を推進していきます。